別紙4　追加提案機能要件・帳票要件一覧

項番	必須要望区分	機能大分類		機能要件		特記事項
1	必須	1	CMS	1	CMSはSaaSサービスとして整備を行うこと。	
2	必須			2	小中学校または教育委員会の担当者が、パソコンの標準的なブラウザを用いてホームページを管理・運用できること。	
3	必須			3	注目情報、新着情報の表示ができること。	
4	必須			4	サイト内検索ができること。	
5	必須			5	アクセスログ解析、集計ができること。	
6	必須			6	スマートフォンやタブレット型パソコン等、マルチデバイスでの閲覧に配慮していること。	
7	必須			7	ブログ機能等何等かの手段で、各学校の校長等が行う情報発信を毎日、毎週、毎月等の頻度で実施できること。	
8	必須			8	各記事は、公開と非公開の2種類に対応できること。非公開では閲覧者にアカウントを発行する等、閲覧制限ができること。	
9	必須			9	小中学校が作成した既存ホームページの総ページ数は1,400ページである。アクセス数については、同規模団体の事例を踏まえ、提案すること。	
10	必須			10	稼働前に、本調達により公開するWebサイトを対象として、ツールによる診断及び必要に応じた手動確認を組み合わせたWebアプリケーション脆弱性診断を実施し、その結果を本市に報告すること。重大又は高リスクと判断される脆弱性が確認された場合は、本稼働までに必要な是正を行い、是正結果を再確認すること。	SaaS方式の場合におけるサービス提供基盤等の診断については、サービス提供者が実施した第三者によるセキュリティ評価、認証又は直近の脆弱性診断結果等の提示により代替することができる。
11	要望			11	管理者権限で、全ての学校等のHPにお知らせを一斉掲載できること。	災害時等緊急時のお知らせ掲載。
12	必須			12	ページ内テキストを音声で読み上げ可能であること	PC・スマートフォン双方で利用可能
13	必須			13	読み上げの開始・停止・一時停止・再開操作が可能であること	ユーザ操作が容易なUIであること
14	必須			14	読み上げ速度の調整が可能であること	段階調整またはスライダー操作
15	必須			15	読み上げ対象箇所のハイライト表示が可能であること	視覚的補助機能として提供
16	必須			16	日本語の正確な音声読み上げに対応すること	自然音声（可能であればニューラル音声）
17	要望			17	多言語テキストの読み上げに対応可能であること	外部サービス連携可
18	要望			18	音声の種類（男女・声質）の選択が可能であること	利用者の選択性向上
19	必須			19	CMSで作成したコンテンツを複数言語で表示可能であること	英語、中国語、韓国語等を想定
20	必須			20	自動翻訳機能（機械翻訳）を有すること	外部API連携可
21	要望			21	翻訳結果をCMS上で手動編集・上書き可能であること	品質担保
22	必須			22	言語切替UIをページ上に配置可能であること	ヘッダー等に配置
23	必須			23	言語別にページ公開・非公開の制御が可能であること	CMS管理画面から設定可能
24	必須			24	URLまたはパラメータにより言語ごとにページを識別可能であること	SEO対応含む
25	必須			25	SEO対策（hreflang等）に対応すること	検索エンジン最適化
26	要望			26	翻訳対象項目の選択が可能であること	柔軟な翻訳制御
27	要望			27	翻訳履歴の管理が可能であること	差分確認・ロールバック
28	要望			28	一括翻訳機能（複数ページ同時翻訳）を有すること	運用効率化
29	必須			29	外部翻訳サービス・音声サービスとの連携が可能であること	API連携
30	必須			30	CMS管理画面から各機能の設定変更が可能であること	非IT職員も操作可能
31	必須			31	アクセシビリティ標準に配慮していること	JIS X 8341-3 / WCAG対応
32	必須	2	出欠連絡	1	保護者等のスマートフォン等の携帯端末で動作する、iOS（App Store）及びAndroid（Google Play）で認証済みの専用アプリとして提供すること。また、専用アプリ上では、保護者等の操作画面に第三者広告、バナー広告、動画広告等を表示しないこと。	
33	必須			2	スマートフォンを所持しない保護者等に対しても、メールなどで情報を送信できること。またアプリと同様に欠席遅刻連絡やアンケート等、同程度の機能が利用できること。	
34	必須			3	欠席・遅刻連絡の受付時間を限定できること。	
35	必須			4	アプリのアカウントは学校から払い出す児童生徒ごとのアカウントを利用すること。	
36	必須			5	1つのアプリで複数のアカウント（兄弟姉妹分）を利用できること。 また、1名の児童・生徒に対して複数の保護者アカウントで利用できること。	父アカウント、母アカウント等
37	必須			6	保護者への通知は、アプリとメールを選択できること。	
38	必須			7	オンラインフォーム等保護者向けのアンケート配布・集計機能があること。	
39	要望			8	オンラインフォームに画像やPDFデータを添付できること。	
40	必須			9	学校は欠席・遅刻確認、アンケート結果の閲覧など、すべての確認を一元的に行え、データ出力もできること。	
41	必須			10	小中学校または教育委員会の担当者が、パソコン・タブレットの標準的なブラウザを用いてメール配信情報を管理・運用できること。	
42	必須			11	配信したい情報に合わせて、学年単位、学級単位、任意グループ単位、児童生徒の個別選択で配信できること。	
43	必須			12	メール配信日時をあらかじめ設定できること。	
44	要望			13	メール内容や配信対象を事前に定型として登録し、用途に応じて選択可能であること	
45	要望			14	メール配信時に承認者の承認を必要とするユーザを設定できること。	アカウントグループによって、送信時に承認が必要な設定。
46	必須			15	メールアドレスの新規登録は、保護者から空メールを送信し、システムからの返信後に最小限の情報入力するなど容易に登録できること。	
47	必須			16	登録情報は、簡易にかつ個人情報をできる限り扱わないよう登録できること。	メールアドレスに付帯する属性情報は、学年、クラスのみとし、生徒名や保護者名、その他住所等の個人情報を管理しない方式を想定。
48	必須			17	登録したメールアドレスを指定の方法により初期化できること。	
49	必須			18	メール配信は以下の用途で使用することを想定している。システム利用量の参考とすること。 ・台風、地震等の災害に関するお知らせ ・運動会や遠足等のイベントに関するお知らせ ・近隣の不審者出没や傷害事件発生等の危険情報に関するお知らせ ・その他、学校・教育委員会からの一斉連絡	
50	要望			19	現在、小中学校で利用しているメール配信システムから、登録されているメールアドレス等のデータ移行が行えること。	
51	必須			20	児童・生徒情報の年次更新作業は自動または簡易な作業で実施できること。	年次更新時に再度情報を入力し直すことがないような運用を想定。
52	必須			21	小中学校の全対象者すべてに対して、15分以内にメール配信ができること。	
53	必須			22	ウィルス対策、通信経路の盗聴対策、管理者の認証、アクセス権限管理、アクセスログ・操作ログ管理、委託終了後のデータ削除等、セキュリティ対策を講じること。	
54	必須			23	出欠連絡のデータは校務支援システムへ指定の時刻にデータ連携できること。	毎日8:20に校務支援システムへ自動でデータ連携する想定。 また、手動で随時データ連携できること。
55	必須			24	学校は教職員ごとに権限を設定でき、利用範囲や機能を制限できること。	
56	必須			25	配信した情報に対する保護者等の閲覧状況を表示し、未閲覧者を把握することができること。	
57	必須			26	教員による児童生徒の欠席連絡を代理で入力できる（保護者等が電話で欠席情報を連絡した場合など）こと。	
58	必須			27	保護者等のアプリ上で教育委員会・学校から配信された通知が、画面上で学校・教育委員会のどちらからの配信であるかの判別が可能であること。	
59	要望			28	保護者等はアプリやメールを利用して、個人懇談や家庭訪問等の日程調整ができること。	
60	要望			29	保護者等からの口頭による希望日程連絡を管理画面から手動で登録・編集することができること。	
61	要望			30	日程調整機能を利用しない学校は、学校側の管理画面と保護者等の画面に、該当する機能のボタン等が表示されないこと。	
62	要望			31	学校から保護者へ配信するお知らせ、メッセージ等について、外国語を使用する保護者に配慮し、日本語で作成した配信内容を複数の言語へ翻訳し、保護者が選択した言語で閲覧できる機能を有すること	
63	必須	3	健康観察	1	児童生徒は、GIGA端末から日々の心身状態を入力できること。なお、小学校低学年でも容易に入力できることに配慮した形式であること。	

項番	必須要望区分	機能大分類			機能要件	特記事項
64	必須			2	学校・教育委員会は、児童生徒の状況を、学校/学年/クラス/個人ごとに、現在から過去にさかのぼって参照できること。	
65	必須			3	児童生徒は、自分が入力したデータをシステム上で確認できること。	
66	必須			4	学校・教育委員会は、健康観察以外にアンケートや質問を任意で設定できること。	アンケートの表示順や、データ確認時の表示内容をカスタマイズできること。
67	必須			5	児童生徒は、学校や教育委員会が設定したアンケート等の質問に容易に回答できること。	
68	必須			6	校務支援システムへデータ連携ができること。	1限目開始時に校務支援システムへ自動でデータ連携できることが望ましい。(要望) 校務支援システム上から、手動で随時データ連携できること。(要望)
69	必須			7	児童生徒が、教職員等に相談したい事項がある場合、その意思表示ができること。	
70	必須			8	児童生徒の情報は、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を継続したデータとして活用できること。	
71	必須			9	児童生徒が入力したデータを任意の条件で抽出することができ、必要な情報の集計等ができること。	csv出力が可能であれば、出力後Excelにて集計する方法でも可